日本生命 CUP 2025

バスケットボール男子日本代表国際試合(東京大会)

日本生命カップ 2025

2025 **7.5** SAT 13:30 TIPOFF 予定

7.6 SUN 15:00 TIPOFF 予定

JAPAN BASKETBALL
AKATSUKI JAPAN

男子日本代表 FIBAランキング 21位 VS 男子オランダ代表 FIBAランキング 54位

日本一丸

有明アリーナ(東京都江東区)

OFFICIAL PROGRAM

主催・主管：公益財団法人日本バスケットボール協会　協力：一般社団法人東京都バスケットボール協会　※FIBAランキング（2025年3月28日現在）　※選手はイメージです

オールバスケで、
日本を元気に。

バスケは、ひとの心を動かしつづける。

ボールと身体が、コートと織りなすリズムに、
共鳴する選手の鼓動。

一人ひとりの個性が生む、多彩なプレーに、
ひき込まれていく観客。

ときには100点をこえる、絶え間ない攻防戦に、
固唾をのむ全国のファン。

バスケによる心の弾みは、
日本中をつなげて、元気にしていく。
私たちは、このつながりを未来まで支えていきます。

さあ、バスケをはじめよう。

ALL BASKETBALL
ACTION

Play, Support. さあ、支えることを始めよう。

NISSAY 日本生命

GREETING

ごあいさつ

公益財団法人
日本バスケットボール協会 会長

三屋 裕子

YUKO MITSUYA

このたび、男子オランダ代表チームを有明アリーナにお迎えし、「日本生命カップ2025（東京大会）バスケットボール男子日本代表国際試合」を開催できますことを、大変うれしく思います。また、来日いただきました男子オランダ代表チームの皆様にも、心から感謝いたします。

今大会は、FIBAアジアカップ2025前の貴重な国際試合の機会です。安心安全な大会とするべく最善を尽くしますので、ファンの皆様におかれましては、会場で、あるいはテレビ中継やインターネット配信を通じ、ぜひ試合をお楽しみください。男子日本代表チームへのご声援をよろしくお願いいたします。

結びに、特別協賛をいただきます日本生命保険相互会社様をはじめとする協賛各社様、また本大会の開催にあたりご尽力いただきます皆様方に心よりお礼を申し上げますとともに、今大会の成功を祈念いたしまして、ごあいさつといたします。

日本生命保険相互会社
代表取締役社長　社長執行役員

朝日 智司

SATOSHI ASAHI

「日本生命カップ2025（東京大会）バスケットボール男子日本代表国際試合」の開催に際し、心よりお祝いを申しあげます。

弊社は現在、サステナビリティ経営の一層の高度化を進め、『誰もが、ずっと、安心して暮らせる社会』の実現を目指しています。この中でスポーツは多くの人々に楽しさや夢・感動を与え、すべての人の生涯にわたり、健康と心の豊かさをもたらす力があると考えております。弊社はこれからも、「Play,Support.～さあ、支えることを始めよう。～」をスローガンに掲げ、スポーツやアスリートを応援していくとともに、バスケットボール・車いすバスケットボールをはじめ、競技団体・アスリートと連携しながら、より良い地域社会づくりに向けた取組を、全国各地で展開してまいります。

本大会において両国の選手が日ごろの練習の成果を存分に発揮され、白熱したゲームが展開されることを期待しております。

©月刊バスケットボール

タイムテーブル

日本生命カップ2025（東京大会）

バスケットボール男子日本代表国際試合

〈 GAME 1 〉
2025年7月5日(土) TIPOFF 13:30

09：00 頃	場外 AKATSUKI JAPAN OFFICIAL STORE オープン
11：00 頃	有明アリーナカフェ オープン
11：30 頃	開場・場内ブース オープン
12：51 頃	AKATSUKI VENUS® オープニングパフォーマンス
12：54 頃	選手入場
13：22 頃	選手紹介
13：30 頃	TIP OFF
HALF TIME	AKATSUKI VENUS® ハーフタイムパフォーマンス 有明アリーナカフェ クローズ ※ハーフタイム終了までオープン
15：30 頃	試合終了
16：00 頃	場内ブースクローズ ※試合終了後 30 分は営業
16：30 頃	場外 AKATSUKI JAPAN OFFICIAL STORE クローズ ※場外 AKATSUKI JAPAN OFFICIAL STORE は第4Q から場内ブースに切り替わりますが、こちらのブースのみ試合終了後 60 分は営業いたします。

※スケジュールは、都合により予告なく変更になる可能性がございます。
※開場時間は、状況により前後する可能性がございます。

〈 GAME 2 〉
2025年7月6日(日) TIPOFF 15:00

09：30 頃	場外 AKATSUKI JAPAN OFFICIAL STORE オープン
12：30 頃	有明アリーナカフェ オープン
13：00 頃	開場・場内ブース オープン
14：25 頃	AKATSUKI VENUS® オープニングパフォーマンス
14：28 頃	選手入場
14：57 頃	選手紹介
15：00 頃	TIP OFF
HALF TIME	AKATSUKI VENUS® ハーフタイムパフォーマンス 有明アリーナカフェ クローズ ※ハーフタイム終了までオープン
17：00 頃	試合終了 場外 AKATSUKI JAPAN OFFICIAL STORE クローズ
17：30 頃	場内ブースクローズ ※試合終了後 30 分は営業

※スケジュールは、都合により予告なく変更になる可能性がございます。
※開場時間は、状況により前後する可能性がございます。

日本生命 CUP 2025

バスケットLIVE

バスケットボール男子日本代表国際試合

SoftBank CUP 2025

日本 VS デンマーク

7.19 SAT 13:30 TIP OFF予定

7.20 SUN 15:00 TIP OFF予定

※2024年7月時点の日本代表戦選出選手を基に掲載しています ©日本バスケットボール協会

日本代表を応援しよう!

ご登録はこちら

格安料金でお財布に優しい!

月額プラン 550円[税込]/月

月額プランより2ヵ月分おトク!

年額プラン 5,500円[税込]/年

本サービスのお申し込みには携帯電話番号が必要です。※サービス利用に関わる通信料金等はお客さまの負担となります。
※内容は予告なく変更になる場合がございます。詳しくはサービスサイトをご確認ください。

TOEWS BROTHERS

【6歳差の兄弟対談】

夢だった兄弟での日本代表入り 共にポイントガードとしてチームを導く

Wリーグ連覇を達成した富士通レッドウェーブで指揮を執るBTテーブス元ヘッドコーチを父に持つ海と流河。小さいころから「兄弟で日本代表としてプレーしたい」という夢を描き、今回、それが実現することになった。兄・海は既にパリ2024オリンピックに出場するなど経験を積んでいる。一方、弟・流河は兄が「スキルが僕よりはるかに上」と太鼓判を押すほどの才能の持ち主。共にポイントガードの2人が日本代表としてどんなプレーを見せてくれるのかに注目だ。

PROFILE

てーぶす・かい：1998年9月17日生まれ／ポイントガード／188cm／アルバルク東京所属／兵庫県出身／ノースカロライナ大学ウィルミントン校出身／パリ2024オリンピック出場。東洋大学京北高校2年のときに渡米。ブリッジンアカデミー・プレップスクールを経てノースフィールド・マウントハーモンスクールへ転向。大学はNCAA（全米体育協会）1部のノースカロライナ大学ウィルミントン校へ進学。2019年12月に帰国後は、宇都宮ブレックス、滋賀レイクスターズでプレーし、2023年からアルバルク東京に在籍。

PROFILE

てーぶす・るか：2004年5月12日生まれ／ポイントガード／184cm／ボストン・カレッジ所属／兵庫出身／ザ・ニューマンスクール出身／報徳学園高校1年生時から主力として活躍。高校2年のインターハイ後にアメリカ留学を決断し、兄の海が在学していたノースフィールド・マウントハーモンスクールへ編入。その後、ザ・ニューマンスクールを経て、NCAA1部に所属するボストン・カレッジに入学。大学1年生の2024-25シーズンは32試合中24試合に出場。

カイは頼れるポイントガード。憧れです

――兄弟揃って日本代表に入ることは想像していましたか？ 小さいときにそういう話をしたことはありますか？

海　僕が12歳ぐらいのときに家族で話をしたことがあります。そのときはまだ、ただの夢だったのですが、数年前ぐらいから『もしかしたら実現するかもしれない』というふうには思っていました。とはいえ、ルカがこんなに早く男子日本代表に呼ばれたことを非常にうれしく思いますし、2人の夢が叶ったということは家族もめちゃくちゃ喜んでくれています。

流河　カイの言ったとおり、最初はちょっと軽い気持ちで男子日本代表という夢を掲げていたのですが、実際にカイが男子日本代表に入って、自分は背中を追う感じになりました。『一日一日努力して、カイがいる男子日本代表までたどり着こう』という気持ちで頑張ってきたので、実際に男子日本代表に呼ばれて本当にうれしいです。

――日本代表の候補選手に決まった時はどのような会話をしましたか？

海　ルカがディベロップメントキャンプに呼ばれていたのは分かっていたので、『そこでいいアピールができればトム(・ホーバス)さんに呼ばれるだろう』と思っていました。それが理想的だったとはいえ、どうなるか分からなかったので、ルカから「第一次強化合宿に呼ばれた」という報告を受けたときはうれしかったですね。

流河　ここに来るまでに結構失敗を繰り返していたので、実際に第一次強化合宿に呼ばれて『一つ壁を越えることができた』という実感があります。その上で、『これから日本代表を背負う姿をしっかり見せられるようにならなければいけない』という責任感も芽生えました。

――父であるBTさんから受けた影響があれば教えてください。

海　本当に、小さいときからの父の教えが今の土台となっています。今はアドバイスをもらうことが少なくなっていますが、やっぱり小さいときからの学びが本当に今に生きています。

流河　同じです。小さいときから身長があり、ミニバスでも中学校でもチームで一番大きかったのですが、センターではなくポイントガードをやっていてよかったなと思っています。

――お互いに、どんなタイプのプレーヤーだと思っているか教えてください。

海　ルカはスキルがあって、タイプとしては僕と似ていると思うのですが、そのなかでもやっぱりニュアンスがちょっと違っているというか……。スキルが僕よりはるかに上で、リング周りのタッチだったりシュート力だったりは本当に優れている選手だと思います

流河　こんなこと言ってますけど、カイも本当にスキルがあり、その上で経験を積んでいる選手なのでバスケIQがすごく優れていて、頼れるポイントガードだな思います。そこは憧れがあります。

――流河選手が渡米する前はよく二人で1対1をしていたとのことですが、最近は対戦しましたか？

海　ルカが渡米する前は負けたことがなかったぐらいなのですが、昨年、ルカが帰国してから1対1をやったときは、負けることもありました。それまでは体のつくりが高校生でしたが、今はもう大人の体をしているので、そう簡単には勝てないですね。

流河　本当にうれしいですよ。やっぱり小さいときからずっと負けてきたので……。以前は食らいつきすぎて血だらけになったこともありますが、勝てませんでした。それがやっと勝てるようになったというのは自信になりますし、今まで頑張ってきた成果だなというふうに実感しました。

――お互いの試合を見たりしますか？

海　見てます。家族の一員として気になります。

流河　今、どういう調子なのかを確認しています。ただ単に“お兄ちゃんを見たい”という気持ちがあります。

――今回の合宿では、お互いのプレーを間近で見ていますが、それぞれの印象を教えてください。

海　ルカは周りが全員プロという環境は初めてだと思うのですが、もう全然慣れていますし、何だったらもう目立っています(笑)。

流河　カイは何度も代表の舞台で戦っているので、頼もしく感じます。

――二人は6歳差ということで、これまでチームメイトになったり試合で対戦したりということはありません。実際に同じチームになってみてどうですか？

海　変な感じです(笑)。

流河　やっと少し実感が湧いた感じで、最初は不思議な気持ちでした(笑)。

――久々に一緒にバスケットボールをして、お互い変わったこと、変わらないことがあれば教えてください。

海　ルカは、ずっと体が弱かったんです。『スキルはあるのに、体ができていない。いつ追いついてくるんだろう？』と思っていましたが、そこはマジで変わりましたね。アメリカに行ってから筋トレを頑張ったと思うのですが、やっとそこが弱点じゃなくなった。それはルカにとっても大きな成長のポイントだと思います。

流河　カイは判断の良さがレベルアップしていると思います。昔はパスがワンテンポ遅れてターンオーバーになることもありましたが、今はもう確実に空いている選手にパスを通していく。特にそこが成長していると思います。

――2人で食事に行ったりしましたか？

海　この前、とんかつを食べに行きました。

流河　2日間の合宿後に行きました。「ここがよかった。ここが悪かった」ということをお互いに話しました。

――これから日本代表としてプレーするに当たり、ファンの方に「ここに注目」ということを他己紹介してください。

海　ルカは、持ち味を発揮すれば、誰が見ても『素晴らしい才能を持った選手だ』ということが分かると思います。

流河　カイの代表を背負うガードとしての確実なプレー、そして判断力に注目してほしいです。

ルカは初代表招集なのに、もう目立っています

今日と未来を、つなぐ。

～誰もが、ずっと、安心して暮らせる社会を目指して～

人生100年時代。
日本生命グループは、一人ひとりの夢や希望、不安に向き合い、
人・地域社会・地球環境のサステナビリティ向上に取り組み、
「誰もが、ずっと、安心して暮らせる社会」を目指します。

人

さまざまなリスクにお応えする生命保険の提供と確実なお支払い、
子育て・青少年育成、ヘルスケア、資産形成、介護など、
ひとりでも多くの人生に、寄り添い続けます。

地域社会

地域の一員として、
地域の課題解決に繋がる取り組みに積極的に参画し、
活力あふれるコミュニティづくりに貢献します。

地球環境

機関投資家としての責任ある運用を通じて、
気候変動をはじめとする社会課題の解決や
豊かな地球環境の基盤づくりに貢献します。

「今日と未来を、つなぐ。」
日本生命グループは、これからも、
みなさまと共に歩み続けます。

日本生命
NISSAY

街の真ん中にスポーツがある。
スポーツが街を動かす
エネルギーになっている。

ここは LaLa arena TOKYO-BAY。スポーツの大会やライブイベントが行われる大型アリーナです。なぜ街の真ん中にアリーナが？それは三井不動産が街づくりにスポーツの力を活かしているから。スポーツの楽しさや感動をもっと日常的に味わってもらいたい。そして、スポーツをする人、観る人、応援する人のつながりを生み出して街をもっと盛り上げていきたい。スポーツのワクワクを街のエネルギーに変えているんです。スポーツで街が一つになるなんて、ちょっと素敵じゃないですか？

さあ、街から未来をかえよう

BE THE CHANGE

三井不動産 MITSUI FUDOSAN

AKATSUKI JAPAN

JBAオフィシャル街づくりパートナー

TEAM MANAGERS

やるべきことが山積みで
代表活動期間中は時間が足りない

【男子日本代表チームに不可欠な存在】

チームマネージャーの仕事内容とは？

裏方として選手をサポートするだけでなく、日本代表のスケジュール作成や管理、海外のバスケットボール協会とのやり取りなども行うチームマネージャー。大局観と細かい心配りの両方が必要で、誰にでも務まるものではない。現在、男子日本代表をサポートしている西村拓也、大木瀬音の両名にマネージャーのあれこれを聞いてみた。

PROFILE

大木瀬音

アシスタントチームマネージャー/2023年から現職。短期留学でアメリカ・フロリダに行ったときに知り合った西村チームマネージャーに誘われ、2021年ごろから男子日本代表の合宿などをサポートしていた。過去には育成年代のチームのマネージャーなどを務めた経験がある。

PROFILE

西村拓也

チームマネージャー／2017年から現職。アメリカ・フロリダ州立大学大学院に在籍中、バスケットボールチームのマネージャーをしていたところ、東野智弥元技術委員長に会う機会があり、男子日本代表の専属マネージャーとしてのオファーを受ける。

――チームマネージャーは、具体的にどんなことをするのですか？

西村　コーチングとメディカルに関する以外のことはすべてする、みたいな感じです。例えば今回のように強化合宿をするということになれば、選手の招集、派遣に関する資料の作成など本当に多岐に渡るので、具体的にと言われるとキリがありません。トム・ホーバスヘッドコーチと一緒に年間スケジュールを決めて、海外のバスケットボール協会との連携、遠征時の航空券やホテルの手配など、チーム運営に関わることはすべてやるという感じです。いろいろな方に協力していただいていますが、僕がマネージメントに近いところを担当していて、大木がチームの現場に近いところを担当しています。マネージャーというと雑用係というイメージがあると思いますが、お金を含めた全体の流れを管理、コントロールしているのがチームマネージャーです。

――これまで男子日本代表に携わってきて印象に残っていることを教えてください。

西村　一番印象に残っているのは、2018年に千葉ポートアリーナでオーストラリアと戦ったFIBAワールドカップ2019アジア地区1次予選（Window3）です。それまで4連敗でしたが、八村塁選手と日本に帰化したニック・ファジーカス選手の活躍で勝利。この試合に負けるとホスト国でありながら東京2020オリンピックへの出場権も手にできないという状況だったので、特に印象に残っています。また、ワールドカップで初めてヨーロッパ勢に勝ったFIBAワールドカップ2023のフィンランド戦も印象に残っています、負けた試合では、パリ2024オリンピックのフランス戦を鮮明に覚えています。

大木　僕が印象に残っているのは、FIBAワールドカップ2023のカーボベルデ戦で勝ってパリ2024オリンピック出場を決めた試合です。第3クォーターを終えて18点リードしていましたが、第4クォーターでは6点差に詰められました。それでも逃げ切って何とか勝利を掴み取ったのが一番嬉しかったですね。逆に悔しかったのは、パリ2024オリンピックのブラジル戦です。目標のベスト8に行くには絶対勝たなければならなかったのですが、最後は接戦で敗退。次はこの悔しい思いを晴らしてほしいです。

――マネージャーはオフコートの選手のことも見ています。この選手はこんな感じという情報をできる範囲で教えてください。

西村　馬場雄大選手がルーキーとして日本代表入りしたのが僕がマネージャーになった時期と重なっていること、また馬場選手の奥さんが僕の姉と小学生時代の親友という縁もあり、代表活動期間以外でもよく話をしています。馬場選手は脱いだ靴をしっかり揃えたり、服を脱いだ後は丁寧に畳むなど几帳面なところがあり、プレーでもワイルドさのなかにもそうした几帳面さが出ていると思います。

大木　僕がマネージャーになったのと同じタイミングで帰化して男子日本代表入りしたジョシュ・ホーキンソン選手は、オンコートインタビューなどでも会場を盛り上げるようなコメントをしますが、裏でもおやじギャグを連発。常にみんなを盛り上げていて、一緒にいてとても楽しい選手です。

molten®

feel the emotion

スポーツの報酬は感情だ。

動き出せ。つながり続けよう。感情に向き合え。

【驚異的なディフェンス力】

ジャン・ローレンス・ハーパージュニア

**ディフェンスを武器にしているハーパージュニア。
背番号「23」をつけているのは、マイケル・ジョーダンにあやかって
課題である得点力を高める意識があるためかと思いきや、
「本当は3番がよかったのですが、空いている背番号で
最小なのが23だっただけ」と、こだわりはないとのこと。
インタビューでは仲のいい河村勇輝からの
アドバイスも披露してくれた。**

**ディフェンスをあるだけでなく、
ポイントガードとしてゲームメイク、
得点面でも貢献したい**

JOHN LAWRENCE HARPER JR

――今年2月のFIBAアジアカップ2025予選が日本代表デビューとなりました。振り返ってみていかがですか？

緊張というものはそれほどなく、『自分の役割をしっかり果たそう』というマインドセットでした。特に、ディフェンス面で貢献できたかなと思います。Bリーグで戦うときも自分の武器はディフェンスだと思っているので、Bリーグと日本代表での戦い方に違いというものは感じていません。またコートのなかだけでなく、ベンチからでも誰よりも声を出してエナジーを上げることもできたかなと。そういう役割も求められていると思うので、心がけていました。

――ポイントガードとしてのゲームメイクや得点面で意識しているのはどんなことですか？

シュートの部分では、Bリーグでもあまり貢献できていませんでした。日本代表ではトム(・ホーバスヘッドコーチ)さんから「積極的に打っていい」と言われているので、オープンになったら積極的に打ちにいっています。トムさんから直々に言われたことで、迷いなく、気持ちよくシュートが打てています。その上で、ポイントガードなので、しっかりシューターにも打たせないといけないというところもあります。その判断をしっかり見極めるようにしています。

――今回の第1次強化合宿にはハーパージュニア選手を含め東海大学の選手(OB、現役)が5人います(西田優大、佐土原遼、金近廉、渡邉怜音)。大学での活動が今に生きていることは何ですか？

東海大出身者が多いのはすごく嬉しいです。やっぱり陸(陸川章監督)さんのもと、体やメンタルが鍛えられたのかなと思います。初めて日本代表に呼ばれたときも、同学年の廉(金近)がいたので心強かったですね。

――ハーパージュニア選手はまだ22歳ですが、今回の第1次強化合宿には年下の選手も数多く入っています。

負けてられないですね。年下がいるからこそモチベーションになり、さらに頑張ることができています。特にルカ(テーブス流河)は同じポジションで、1対1を得意としていて、すごく学ぶことが多いので、お互い切磋琢磨しています。

――仲のいい河村勇輝選手から連絡はありましたか？

「思い切りやれ」と言われました。勇輝も初めて呼ばれた合宿ではメンバーに残れなかったのですが、その理由を「アグレッシブになっていなくて、パスだけを探していたから」と言っていました。それを踏まえて「本当にアグレッシブにやらないと厳しい結果になるから、思い切りやれ」と言われました。

――改めて、自分のここに注目してほしいということを教えてください。

日本代表のプレースタイルは速いバスケなので、それをポイントガードとして遂行すること。そして、ディフェンスでアグレッシブにプレーするのは当たり前で、得点に関しては3Pシュートを3本は打ちたいですね。3本打って入らなかったらやめます(笑)。3本打って1本でも入ったらもっと打ちます(笑)。いや、様子見するかな(笑)。

PROFILE

じゃん・ろーれんす・はーぱーじゅにあ：2003年2月9日生まれ／ポイントガード／181㎝／サンロッカーズ渋谷所属／沖縄県出身／東海大学出身／福岡第一高校3年時にインターハイ&ウインターカップの2冠達成。2021年1月に琉球ゴールデンキングスと特別指定選手契約を結び、2月6日、17歳11か月29日でレバンガ北海道戦に出場。河村勇輝(高校の1年先輩)が持っていた当時Bリーグ最年少記録を更新。その後、群馬クレインサンダーズを経て、現在はサンロッカーズ渋谷所属。

三井住友信託銀行は、
バスケットボール日本代表を応援しています。

JAPAN BASKETBALL
AKATSUKI JAPAN

©シンジル＆タクセル

©日本バスケットボール協会

三井住友信託

JAPAN

日本代表 | FIBAランキング 21位

2025年3月28日現在

HEAD COACH
TOM HOVASSE

トム・ホーバス
公益財団法人日本バスケットボール協会

POSITION SF
NAME AKIRA JACOBS
#4
ジェイコブス 晶
生年月日:2004年4月13日　身長:203cm
所属:フォーダム大学

POSITION PG
NAME KAI TOEWS
#7
テーブス 海
生年月日:1998年9月17日　身長:188cm
所属:アルバルク東京

POSITION SF
NAME REN KANECHIKA
#13
金近 廉
生年月日:2003年3月11日　身長:196cm
所属:千葉ジェッツ

POSITION C
NAME TOYOSHIGE KANO
#14
狩野 富成
生年月日:2001年10月6日　身長:206cm
所属:サンロッカーズ渋谷

POSITION PG
NAME TAICHI NAKAMURA
#17
中村 太地
生年月日:1997年6月29日　身長:190cm
所属:島根スサノオマジック

POSITION SG
NAME YUDAI NISHIDA
#19
西田 優大
生年月日:1999年3月13日　身長:190cm
所属:シーホース三河

POSITION SF
NAME IBU YAMAZAKI
#20
山﨑 一渉
生年月日:2003年7月10日　身長:200cm
所属:ノーザン・コロラド大学

POSITION PG
NAME HAYATO WAKUGAWA
#21
湧川 颯斗
生年月日:2004年5月2日　身長:194cm
所属:三遠ネオフェニックス

POSITION PG
NAME JOHN LAWRENCE HARPER JR
#23
ジャン・ローレンス・ハーパージュニア
生年月日:2003年2月9日　身長:181cm
所属:サンロッカーズ渋谷

POSITION C PF
NAME JOSH HAWKINSON
#24
ジョシュ・ホーキンソン
生年月日:1995年6月23日　身長:208cm
所属:サンロッカーズ渋谷

POSITION PF
NAME YUTO KAWASHIMA
#25
川島 悠翔
生年月日:2005年5月27日　身長:200cm
所属:シアトル大学

POSITION SF
NAME RYO SADOHARA
#35
佐土原 遼
生年月日:1999年10月24日　身長:192cm
所属:琉球ゴールデンキングス

POSITION PF
NAME LEON WATANABE
#42
渡邉 伶音
生年月日:2006年4月2日　身長:206cm
所属:東海大学

POSITION PG
NAME LUKA TOEWS
#45
テーブス 流河
生年月日:2004年5月12日　身長:184cm
所属:ボストン・カレッジ

POSITION SF
NAME HIROTAKA YOSHII
#91
吉井 裕鷹
生年月日:1998年6月4日　身長:196cm
所属:三遠ネオフェニックス

POSITION C
NAME KOYA KAWAMATA
#99
川真田 紘也
生年月日:1998年6月16日　身長:204cm
所属:長崎ヴェルカ

2025年7月2日現在

STAFF

アシスタントコーチ
勝久 ジェフリー
川崎ブレイブサンダース

アシスタントコーチ
佐々 宜央
琉球ゴールデンキングス

アシスタントコーチ
冨山 晋司
公益財団法人
日本バスケットボール協会

スポーツパフォーマンスコーチ
緒方 博紀
公益財団法人
日本バスケットボール協会

アスレチックトレーナー
一柳 武男
公益財団法人
日本バスケットボール協会

アスレチックトレーナー
古澤 美香
公益財団法人
日本バスケットボール協会

アスレチックトレーナー
岡本 香織
公益財団法人
日本バスケットボール協会

テクニカルスタッフ
磯野 眞
長崎ヴェルカ

チームマネージャー
西村 拓也
公益財団法人
日本バスケットボール協会

アシスタントチームマネージャー
大木 瀬音
公益財団法人
日本バスケットボール協会

サポートスタッフ
保田 延彦
公益財団法人
日本バスケットボール協会

NETHERLANDS

オランダ代表 | FIBAランキング 54位

2025年2月9日現在

POSITION PG
NAME JAMIE BERGENS
#1

生年月日:2001年12月15日　身長:189cm

POSITION PG
NAME JORYAM SAÏZONOU
#2

生年月日:2002年5月13日　身長:189cm

POSITION SG
NAME CALEB VIJBER
#3

生年月日:2002年11月8日　身長:186cm

POSITION SF
NAME JONATHAN VERKERK
#4

生年月日:2003年11月16日　身長:198cm

POSITION SF
NAME KJELD ZUIDEMA
#5

生年月日:2001年6月21日　身長:195cm

POSITION SF
NAME SIEM UITENDAAL
#6

生年月日:2001年5月5日　身長:196cm

POSITION SF PF
NAME LUCAS KRUITHOF
#7

生年月日:2000年7月17日　身長:201cm

POSITION SF PF
NAME TOM CARROLL
#8

生年月日:2003年7月22日　身長:202cm

POSITION SF PF
NAME JIBBE SICKING
#9

生年月日:2004年12月25日　身長:204cm

POSITION PF
NAME BENICIO LEONS
#10

生年月日:2002年10月7日　身長:200cm

POSITION PF C
NAME ANOUAR MELLOUK
#11

生年月日:2001年1月12日　身長:203cm

POSITION C
NAME JEDIAËL CORDILIA
#12

生年月日:2002年2月11日　身長:205cm

POSITION C
NAME MATHIAS VAN DEN BEEMT
#13

生年月日:2001年6月4日　身長:213cm

POSITION C
NAME JONAS VISSER
#14

生年月日:2001年2月6日　身長:208cm

NETHERLANDS
NATIONAL TEAM
ROSTER

STAFF

Assistant Coach
JEROEN VAN VUGT

Physiotherapist
DINO BERGENS

Team Manager
RENS HAMMERSTEIN

Assistant Team Manager
ROMARIO VAN'T LAND

Media
MIGUEL GORI

Head of Delegation
BRIAN BENJAMIN

NICHIBAN

バトルウィン™とは

ニチバンのテーピングブランドです。1981年「ニチバンスポーツテープ」として
スポーツ市場に向けて初めて製品を発売、
1984年にバトルウィン™(battlewin™)ブランドに切り替え、
長年スポーツシーンをサポートしてまいりました。
これから先もニチバンはバトルウィン™ブランドを通じて、
日本の、世界のスポーツシーンを支えてまいります。

battlewin★com ★バトルウィンドットコム
詳細はコチラ▶

JAPAN BASKETBALL AKATSUKI JAPAN × NICHIBAN

ニチバンは AKATSUKI JAPAN ／バスケットボール日本代表のオフィシャルサプライヤーです。

TM：trademark

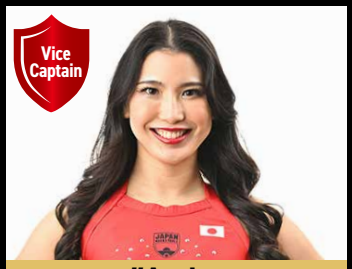
AKATSUKI VENUS®

バスケットボール日本代表オフィシャルチアリーダーズ

バスケットボール日本代表 AKATSUKI JAPANを応援するオフィシャルチアリーダーズとして暁の空に最後まで輝き続ける金星「VENUS」をイメージし、日本代表を勝利の日の出へ導く存在になるという思いと、AKATSUKI VENUS®の活動に取り組む姿・思いがまた一つの目標となり、子供たちをはじめ多くの人へ勇気や夢、元気をお届けしたいと思い2017年に結成。AKATSUKI JAPANの選手たち同様、地域貢献活動への参加や活動を通してSDGsの実践等取り組みを予定しております。

#Rumi

所属：元 滋賀レイクス
得意な技：ジャンプ
特技・趣味：早着替え、旅行

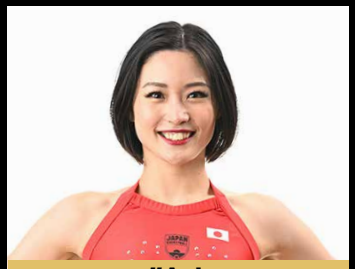


#Ayaka

所属：横浜ビー・コルセアーズ
得意な技：髪さばきまで意識したダンス
特技・趣味：映画鑑賞・ラーメン

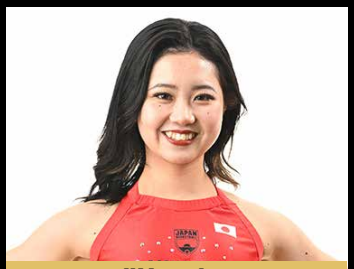
#Aimi

所属：東京ユナイテッド
得意な技：柔軟性を活かしたダンス
特技・趣味：ランニング、岩盤浴



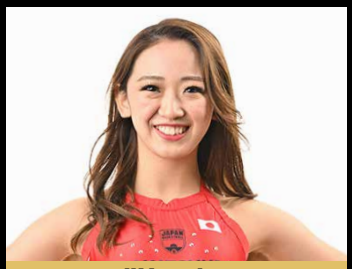
#Aoi

所属：横浜エクセレンス
得意な技：ターン
特技・趣味：ハンドドリップコーヒー、音楽・ライブ鑑賞



#Hanaka

所属：千葉ジェッツふなばし
得意な技：上半身の表現力
特技・趣味：人の顔を覚える事・空の写真を撮ること

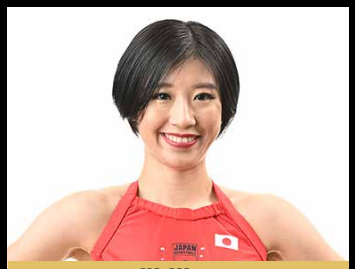


#Haruka

所属：サンロッカーズ渋谷
得意な技：体の可動域を大きく使った迫力あるダンス
特技・趣味：お風呂、お笑いを見ること

#Mayuka

所属：横浜ビー・コルセアーズ
得意な技：ジャンプ
特技・趣味：ドライブ、カメラ



#Miku

所属：アルティーリ千葉
得意な技：ターン
特技・趣味：熱い応援、のんびりすること、スポーツ観戦

#Nanase

所属：千葉ジェッツふなばし
得意な技：側宙
特技・趣味：サウナ、ドライブ

#Reona

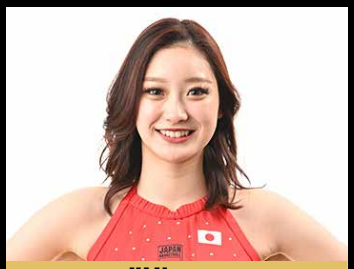
所属：千葉ジェッツふなばし
得意な技：キック
特技・趣味：岩盤浴、グルメ巡り

#Rinka

所属：仙台89ERS
得意な技：アクロバット
特技・趣味：映画鑑賞、料理

#Sumire

所属：宇都宮ブレックス
得意な技：前方転回
特技・趣味：化粧品を集める、カフェ巡り



#Hinata

所属：レバンガ北海道
得意な技：ターン
特技・趣味：ネイル、スポーツ観戦

当協会はSDGsに貢献するプロジェクトを推進しており今回はAKATSUKI JAPAN バスケットボール男女日本代表チームへ提供されているT シャツをアップサイクルし、男女日本代表戦の演出で使用する「AKATSUKI JAPAN 応援フラッグ」として生まれ変わりました。制作する過程で（JBAのオフィス所在地である文京区にあります）小石川福祉作業所にてAKATSUKI VENUS®と共に制作過程に加わっていただき、AKATSUKI JAPAN バスケットボール男女日本代表チームへ勝利への願いを一緒に込めました。

©日本バスケットボール協会

AKATSUKI VENUS® Instagram 公式アカウント
https://www.instagram.com/akatsukivenus_jba/

AKATSUKI JAPAN plus+/AKATSUKI VENUS® 紹介ページ
https://akatsukijapanplus.jp/s/n72/page/about_venus5

AKATSUKI JAPAN
オフィシャルグッズ販売中！

ボール型キーホルダー
¥1,100

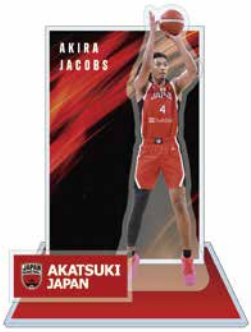
N&N T シャツ ¥4,900

JBA 公式レプリカユニフォーム
¥25,000

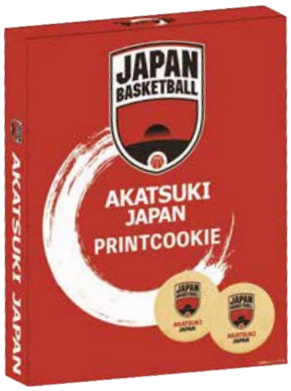
【シークレット】
プレイヤーズ
アクリルキーホルダー
¥900

【音響制御】
AKATSUKI
マジカルペンライト
¥3,800

W メガホン レッド × ブラック ¥990



プレイヤーズ アクリルスタンド
¥1,800



AKATSUKI JAPAN
応援クッキー ¥1,300

AKATSUKI JAPAN 扇子 ¥1,500

プレイヤーズプリントフェイスタオル¥2,500

SNOOPY フェイスタオル ¥2,600

公式 オンラインストアにアクセス!!

公式オンラインストアではグッズ売り場で売っていない、売り切れているアイテムが販売していることもございます。是非チェックしてみてください。

●画像は監修中につき、デザインが変更となる場合がございます。●商品画像はイメージです。●掲載している商品以外にも販売している商品もございます。
●一部取り扱いが無い商品、売り切れの商品もございます。ご了承ください。

JBA JAPAN BASKETBALL ASSOCIATION OFFICIAL ONLINE STORE

AKATSUKI JAPAN plus+

バスケットボール日本代表 公式FUNサイト

新規入会受付中!!

入会はこちら

AKATSUKI JAPAN plus+は代表とあなたを「繋ぐ」ファンクラブ

AKATSUKI JAPAN plus+に入会すると!

チケット

TICKET

AKATSUKI JAPANの国内全試合やJBA主催試合※のチケットをどこよりも早く購入できる!

※一部対象外の試合がございます。

会員限定コンテンツ

毎月更新のAKATSUKI JAPAN 男女のカレンダー、限定コラム、また代表選手の素顔が垣間見えるインタビュー動画など、ここでしか得られない会員限定コンテンツを多数配信!

サイン入りグッズなどがもらえるプレゼントキャンペーンも開催!

AKATSUKI JAPAN plus+ご入会方法

月額440円(税込)でご利用いただける公式FUNサイトです。URLもしくはQRコードにアクセスしてください。

※12ヶ月払いもご利用いただけます。※携帯電話など一部端末には対応しておりません。

http://akatsukjapanplus.jp アカツキジャパンプラス

有料会員／無料会員の方へ

メルマガでバスケットボール日本代表のお得な情報をGET!! 今すぐ登録しよう!

(QRコードを読み込んでログインしてください)

メルマガ登録はこちら

JBA JAPAN BASKETBALL ASSOCIATION

©日本バスケットボール協会

バスケで日本を元気に！
JAPAN BASKETBALL STANDARD

「JAPAN BASKETBALL STANDARD」は、日本のバスケットボールの未来を輝かせるために、バスケットボールに関わるすべての人が「バスケで日本を元気に！」というひとつの理念にむかい、ひとつのチームとして持つべき「志」、目指すべき「目標」、行うべき「行動」を示したものです。
日本バスケットボール協会が設立100周年を迎える2030年にむけてビジョンを描き、目指すべき姿を掲げています。

JAPAN BASKETBALL
JBA
JAPAN BASKETBALL ASSOCIATION

バスケ JBS

SPORTS
【競技と組織】バスケが日本スポーツをリードするにふさわしい競技であり続けるために「国際競技力の向上」や「競技・事業環境の進化と適応」、「クリーンな組織体制の強化」を進める。

CULTURE
【文化】バスケが文化として日本全体に根付くことで、「する」「観る」「携わる」「語る」「育む」あらゆる人々にとって身近な存在であり続け、形成される無数のコミュニティで、すべての人の毎日を彩る。

SOCIETY
【社会】バスケが地域や産業活性化に必要不可欠なインフラになることで、これからもずっと社会に受け入れられ、未来に向けた持続可能で豊かな社会を実現する。

JAPAN BASKETBALL STANDARD 2025

「バスケで日本を元気に！」
これは、どんなに時代が移り変わっても、決してぶれることのない理念であり、原点です。

しかし、2016年にJBSを策定してから10年が経とうとする今、「バスケで日本を元気に！」が果たす役割、求められる役割は時代の変化とともに多様化しています。

JBS2025では、「バスケで日本を元気に！」の理念を具現化し、その広がりを正しく捉え、バスケットボール界が果たすべき責任とその価値を再確認し、未来へつなげるための新たなスタンダードとして、『SPORTS：競技と組織』『CULTURE：文化』『SOCIETY：社会』の3つの領域を設定し、それぞれのビジョンを策定しました。

また、それぞれの領域に共通する概念として、『DIVERSITY & INCLUSION（多様性と包括）』『COMPLIANCE & INTEGRITY（法令順守と誠実さ）』『DIGITAL TRANSFORMATION（デジタル変革）』を掲げています。

JBS2025に描いた未来を現実のものとし、「バスケで日本を元気に！」を実現するために、JBAは、B.LEAGUE、W LEAGUE、都道府県協会、各種連盟、パートナー、ファンや地域の方々など、すべてのバスケットボールファミリーの皆さまとともに、より良い日本のバスケットボールの未来を創り上げていきます。

バスケで日本を元気に！